

グラフや表を用いて、意見文を書こう

～みんなで編集「わたしたちのくらしマガジン」～

中心学習材「グラフや表を引用して書こう」(光村図書5年)

＜育てたい主となる能力＞

- ◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。(書エ)
- ◎書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。(書力)

＜単元を貫く言語活動＞

- ◎グラフや表を用いて意見文を書く。

1 子どもと単元について

子どもたちは、4年生の「読書生活について考えよう」では、調べて得た情報を基に結果を考察する調査報告文を書く学習を行い、具体的な理由や事例を挙げて、伝えたいことを明確にして書くことができるようになった。また、5年生の「次への一歩～活動報告書」では、活動報告書の基本の構成を理解し、目的や意図に応じて事実と感想、意見を区別して書いたり、簡単に書いたり、詳しく書いたりする力を高めてきている。

中心学習材「グラフや表を引用して書こう」は、前単元「天気を予想する」で学んだ図・表・グラフ・写真を用いての説明の仕方の工夫を踏まえ、統計資料を根拠とした意見文を書く活動を通して、理由や根拠を明確にしながらか自分の考えを記述する力を育てることをねらいとしている。自分の考えを裏付ける統計資料の探し方や統計資料の読み取り方、統計資料を説明する場合の要件についての理解を深めることのできる学習材でもある。

指導に当たっては、次の三つを大切にす。一つ目は、意見文を書くための意欲付けを図ることである。そのために、自分達の生活を客観的に振り返ることのできる健康面、体力面、読書量などに関する身近な統計資料を収集させる。また、単元の導入で、意見文をまとめた「わたしたちのくらしマガジン」を作成して全校に発信することも知らせる。二つ目は、統計資料を用いて、読み手を説得する力を身に付けさせることである。そのために、用いる統計資料を吟味して選択し、解釈を慎重に行わせる。図表やグラフによって示されるデータは、それだけでは何の意味ももたないので、そのデータから何を読み取ることができるのか、何を意味付けることができるのか、自分の考えの資料となりうるのかなどを十分に検討させたい。また、自分の意見により説得力をもたせるために、複数の統計資料を可能な限り用いるようにさせる。三つ目は、意見文を読んで助言する力を身に付けさせることである。そのために、4名を基本とする編集グループを作り、編集会議を開いて、自分の考えの根拠となりうる統計資料であるか、書き上げた意見文が統計資料の説明の要件を十分に満たしているかなどを検討する。編集グループで検討する際には、検討の観点を示したワークシートを用いる。また、単元の最後には、「わたしたちのくらしマガジン」出版披露会を行い、意見や感想を交流する。

2 単元の指導目標

○意見に説得力をもたせるときグラフや表の有効性に気付き、効果的に引用しようとしている。

【関心・意欲・態度】

◎統計資料を説明する場合の要件に沿ってグラフや表を用いて、自分の考えが伝わるように書くことができる。

【書くこと エ】

◎意見文を発表し合い、引用の仕方や表現の仕方に着目して助言することができる。

【書くこと カ】

○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語活動についての知識・理解・技能
○意見文に説得力をもたせるときグラフや表の有効性に気付き、効果的に引用しようとしている。	◎統計資料を用いて根拠を明確にしながらか自分の考えを書いている。 ◎友だちの意見文を読み、引用の仕方や表現の仕方に着目しながら助言している。	○意見文の構成要素を理解している。

4 学習指導計画（全5時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

前単元
説明のしかたについて
考えよう「天気を
予想する」（5時間）

- 伝えたいことを説明するための表現の工夫について話し合う。
- グラフや表、写真を使う意図や効果
- 数値の効果
- 考えと事実の記述の仕方
- 表やグラフの説明の仕方

第1次

単元の学習の見通しをもち、自分の考えを整理する。
（1時間）

①「わたしたちのくらしマガジン」を出版することを確認し、学習計画を立てる。

<評価>

①学習の見通しをもち、「わたしたちのくらし」について自分の考えをまとめている。

《発言・ワークシート》

第2次

目的に合った統計資料を用いて、自分の立場に沿って文章を書く。
（3時間）

②モデル文を基に図表やグラフを用いた効果的な意見文の書き方について理解し、自分の意見の裏付けとなる統計資料を整理する。

③統計資料を引用して、意見文の本論を書く。（本時）

④序論と結論を書き、意見文を完成させる。

<評価>

②意見文の構成要素を理解している。

《発言・ワークシート》

③選んだ統計資料の説明を、四つの要件を落とさずに、自分の立場に沿って書いている。

《ワークシート》

④考えと根拠を書き分けて意見文を書いている。

《文章》

「天気を予想する」の学習で理解した、グラフ等を使う意図や効果、数値の効果の知識を活用し、考えの裏付けとなる資料を探し、読み取る。

「天気を予想する」の学習で学んだグラフ等の説明の仕方を活用し、自分の選んだ統計資料の説明を書く。

第3次

「わたしたちのくらしマガジン」出版披露会を行い、学習のまとめをする。（1時間）

⑤グループごとにまとめた「わたしたちのくらしマガジン」を読み合い、考え方や文章の書き方、表やグラフの使い方について評価し合う。

<評価>

⑤友達の文章を読んで、優れた点を取り上げて具体的に助言している。

《発言・ワークシート》

【国語科活用場面】

○グラフや表を引用して意見文を書く。

6年生「平和意見文」

【他教科等・日常活用場面】

○社会科、理科、家庭科などの学習において、グラフや表を読み取り、理由や根拠を明確にし、ながら自分の考えを記述する。

特別活動

わたしたちのくらしマガジンを校内に展示する。

5 本時の指導

(1) ねらい

統計資料を用いて、理由や根拠を明確にしながらか自分の考えをまとめて本論を書くことができる。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動

前時までに、グラフや表を用いると自分の考えの根拠となる客観的な事実がよく伝わるという効果や、グラフや表を用いて説明する場合の書き方を学習してきた。本時では、その知識・技能を生かし、「わたしたちの暮らし」について自分の考えを明確に伝えるために、自分の考えを裏付ける統計資料の説明と考察を書く。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">統計資料を用いて、意見文の本論を書こう。</div>		○学習計画表を基に、単元における本時の位置付けを確かめながら学習課題を確認し、学習の見通しをもたせる。
2 学習課題を解決する。 (1) 統計資料を説明する場合の文章の書き方を確認する。 (2) 選んだ資料の説明を書く。 (3) 説明の書き方について検討する。(編集会議) (4) アドバイスを基に自分の意見文を加除・修正する。	<統計資料の説明の書き方> ○資料を説明するときの要件 ①何を表すグラフや表なのかを述べる。(表題) ②どのように示されているグラフや表なのかを説明する。(示され方) ③ 注目する言葉や数値を示す。(事実) ④注目する言葉や数値が何を意味するかを表す。(考察) ○文末表現 ・事実と考えの書き分け ・常体と敬体の統一 <検討の観点> ○書き手の考えと資料の関連性 ・書き手の考えと事実の関連 ・書き手の考えと考察の関連 ○推敲の観点 ・要件①と②の記述 ・事実と考えの書き分け ・文末表現	○教科書のモデル文を基に、統計資料の説明の文章の書き方を確認する。 ○要件に当てはめながら文章化していくモデルを作成して提示し、書き方を具体的に理解できるようにする。また、同じモデル文で、事実と考えの書き分け、常体と敬体の統一についても確認することができるようにする。 ○児童の実態に合わせたワークシートを準備し、全ての児童が説明の文章を書き終わることができるようにする。 ○統計資料の読み取りでつまづいている児童には、注目すべき数値や変化に気付かせる。 ○各編集グループのボードに「会議の流れ」や「検討の観点」を掲示しておき、編集長を中心に説明の文章の検討を進めることができるようにする。 ○グループ内で説明の文章を読み合い、付箋を用いながらよりよいアドバイスができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <評価>選んだ統計資料の説明を、四つの要件を落とさずに自分の考えに沿って書いている。 【ワークシート】 </div>
3 学習を振り返る。 (1) 自己評価をする。 (2) 振り返りを交流する。 4 次時の学習内容を知る。		○「説明の書き方」における学習の成果を観点として記述させ、身に付けた力を実感できるようにする。 ○次時に意見文を清書することを確認し、意欲をもつことができるようにする。